

- ◆企画名 運営本部合宿
日 程 平成 27 年 3 月 14 日（土）～3 月 15 日（日）
場 所 関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館
参加者数 14 名（ピア・サポータ 7 名、研修生 2 名、職員 2 名、学生支援室 TA3 名）
目 的

- ・今年度の活動の振り返り
- ・運営本部理念（広報、交流、管理）の再確認を行う
- ・以上をもとに次年度の計画策定を行う

内 容

今年度の反省、ピアの連携、ピア全体について、運営本部の在り方、次年度の計画という 5 つの議題について話し合う合宿であった。

- ・タイムスケジュール

(1 日目)

13:00～ 今年度の反省

15:10～ ピアの連携、ピア全体について、運営本部の在り方

18:00～ 夕食

20:00～ 運営本部の在り方

22:00～ 懇親会

(2 日目)

8:00～ 朝食

9:00～ 次年度の計画

12:00～ 昼食

13:00～ 次年度の計画

効 果

- ・普段の会議では 90 分で 3 つ～5 つ程度の議題について話すのが、合宿では 1 つの議題に 2 時間程度時間をかけることで、メンバー一人一人の意見をしっかりと聞くことができた。
- ・会議の司会をメンバー全員が交代で担うことで司会を経験したことのないメンバーにとっていい経験となった。
- ・運営本部メンバーで親睦を深めることができた。

改 善 点

運営本部合宿は、準備から実施までわずかな時間しかなかったが、滞りなく実施することができ、また合宿当日に大きな問題も発生することなく終えることができた。

感 想

ピア全体合宿中止ということは非常に残念なことであった。合宿は本来ピア・コミュニティ全体である。他のコミュニティの人に「合宿に参加したい」と思ってもらえるような合宿はどうすればできるのか検討していく必要がある。

運営本部合宿でピア全体合宿参加者減少の理由について話し合った結果、合宿の内容についての広報不足、合宿実施日の設定ミス、奈良県明日香村という遠方地での合宿に対する抵抗感等があげられた。これらの意見を参考にし、また各コミュニティからピア全体合宿への要望をしっかりと聞き取ることで、夏のピア全体合宿の実施につなげていきたい。

ピア全体合宿中止という問題に対して、運営本部メンバーが一致協力して、ピア全体合宿を運営本部合宿という形に変えることができ、運営本部の企画実施力が上がっているということを実感できた。引き続き運営本部の企画実施力を向上させ、関大生によりよいピア・サポートを提供していきたい。